

# 平成 29 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	10
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	ヘルスアップ(運動指導)委託事業					
予算科目	4 款 1 項 4 目					
予算事業名	健康教育費					
総合計画での位置づけ	健康管理・意識を高める					
担当課	健康福祉課	担当課長	國壽 和幸			
事業担当者	中原 洋子	一次評価者	稲永 みき			
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	-					
事業の対象	原則として20歳以上の成人					
事業の目的	健康づくり活動の充実の一環として、運動指導を中心とした住民の健康増進、疾病予防及び改善、認知症予防等を図る。					
実施期間	開始年度	平成 7 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	ヘルスC&Cセンターフィットネスルームにおいて、月・水・金の10時から21時30分まで、健康運動指導士が常駐し、運動指導やエクササイズ指導にあたる。会員制ではなく、予約不要のビジター制とし、10回利用につき1回利用料無料となるスタンプカードの発行、20時以降は利用料割引の勤労者応援タイムなどを実施し、利用機会の促進を図っている。					
目的達成の指標	フィットネス利用者数					
	区分年度	単位	28 年度	29 年度	30 年度	年度
	目標	人	8750	8750	9200	9250
	実績	人	8577	9196		
指標設定の考え方	フィットネスの利用が住民の健康増進、疾病予防及び改善、認知症予防等に繋がっていると考えられる。また、利用者の運動習慣の継続により住民の健康増進を推進する。					
事業遂行時懸案事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規利用者の増加に繋げるために周知方法、内容の検討が必要である。</li> <li>・プログラム内容の見直しを行い工夫する。</li> </ul>					
事業実施時懸案事項対応等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの周知方法は継続しながら、対象者を絞ったチラシを作成して案内を行い関心を引いてもらえるよう工夫した。ホームページは、掲載内容と掲載方法を変更した。</li> <li>・ヨガの実施場所と内容の変更を行い、今まで実施していたヨガの空きスペースを利用して、高齢者を対象としたプログラムを新設した。</li> <li>・町民スポーツ大会会場でフィットネスのPR活動を行った。</li> </ul>					

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,655 円  
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算
事務量	① 人工数	0.19	0.14	0.14
	② 人件費単価	7,289	7,381	7,350
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	1,384	1,033	1,029
事業費	直接事業費	13,142	13,566	13,523
	人件費	1,384	1,033	1,029
	合 計	14,526	14,599	14,552
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他	2,240	2,240	2,206
	一般財源	12,286	12,359	12,346
合 計	14,526	14,599	14,552	14,816

事業費計画

(千円)

区分/年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
目 標	13,142	13,566	13,523	13,787	
実 績	13,278	13,564			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
連携会議	回	12	12	12	12
		14	12		
広報、ホームページ掲載	回	14	18	16	16
		15	16		
チラシ、ポスター配布件数	件	10	15	10	10
		10	15		
実利用者数	人	380	400	430	430
		385	424		
新規利用者数	人	160	165	205	205
		147	193		
月3回以上利用者割合	%			45	45
		42	41		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,651 円  
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度決算	29 年度予算	29 年度決算	
事務量	① 人工数	0.19	0.14	0.14
	② 人件費単価	6,768	7,381	7,129
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	1,285	1,033	998
事業費	直接事業費	13,278	13,566	13,564
	人件費	1,285	1,033	998
	合 計	14,563	14,599	14,562
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	地方債		0	
	その他	2,468	2,240	2,671
	一般財源	12,095	12,359	11,891
合 計	14,563	14,599	14,562	

実施備忘録

# CHECK(評価)

自己評価	評価者	中原 洋子
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
<b>①有効性</b>		A
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
<b>②効率性</b>		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
<b>③公平性・透明性</b>		A
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

## 4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

フィットネス周知方法を運動指導士と協議を重ねながら、より効果的な方法を模索して、チラシの作成、案内やポスター掲示がフィットネスの新規利用に繋がったのではないかと考える。また、利用者の運動種目の選択や、新たな支援が出来るようにオープンプログラム内容の変更や新設の取り組みが実利用人数、延べ人利用人数の増加に繋がり、過去最高の総利用者数となったので実施方法は適切であると考えます。

## 5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

利用人数は過去最高となったが、利用頻度別の利用者人数で月3回以上の利用割合が今までと同様の状況であるので、運動指導士と確認を行い、継続者の利用頻度の増加が見られるように内容の検討を行う。利用者が増加したことでトレーニング機器使用の待ち時間がでないように対応を考える。

# CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	稲永 みき
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ↔ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？		
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		A
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		A
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

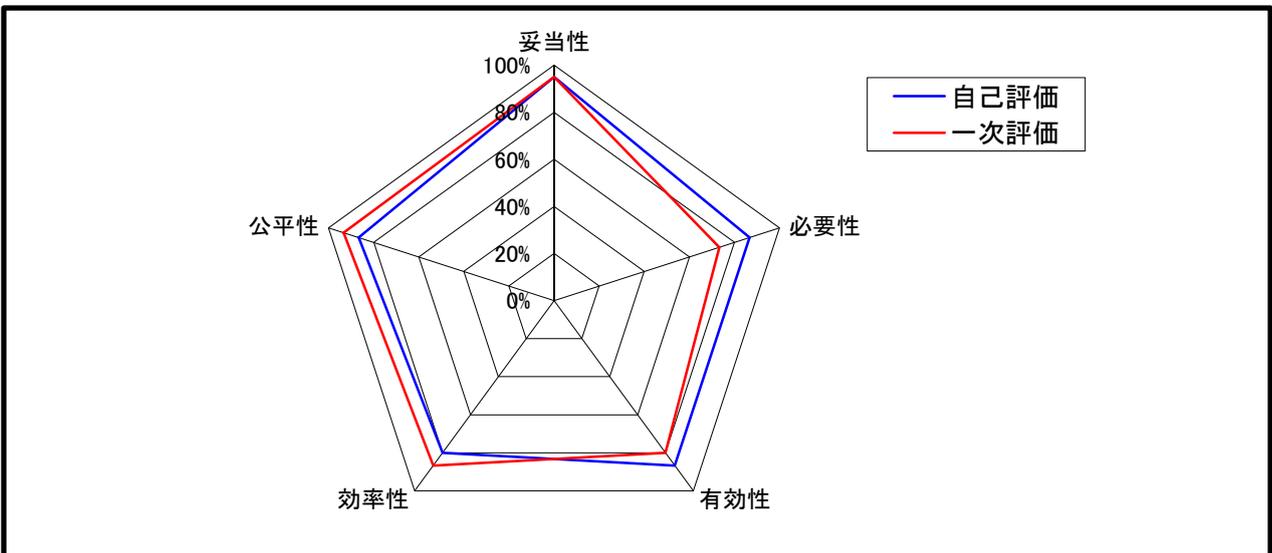


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

運動プログラムおよび周知活動等の工夫により、実利用者、新規利用者ともに増加し、延べ利用者数が過去最高となった。新たな課題である継続利用者の利用頻度の増加に対する対策を検討していくことにより、さらに延べ利用者の増加を図り、健康増進および疾病予防の推進につなげていく必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



# ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価	評価者	國崎 和幸
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

健康維持の為に運動は欠かせないものとする。年齢に応じた運動の選択肢を増やせるように工夫し事業を継続していく。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、  
月 日  
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。  
月 日  
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了  
 外部評価へ

## 事務事業の改善案

手段	
内容	

# ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

## 外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	

## 外部評価委員の意見

--

## 経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	

## 経営者会議の評価

--